

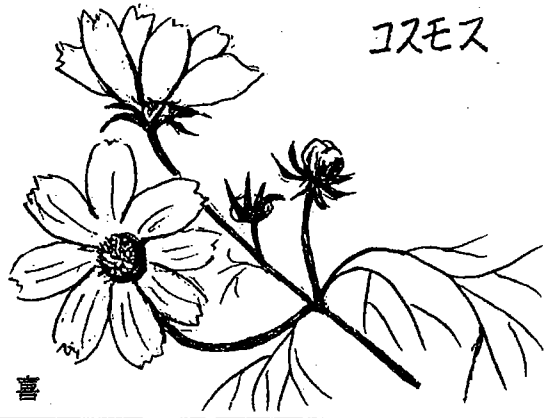
生活習慣の基礎・基本を 子どもたちに

深小学校長 瀬畑 三代子



子どもたちにしっかりとした学力を身につけさせ、心優しく豊かに育ててほしいという願いは、保護者を始めすべての人の願いです。しかし、子どもを取りまく昨今の課題は大きくなるばかりのよう気がします。原因は何か、どうすればいいか、(特効薬はないと思いますが)原点に立ちかえり、ともに考えてみましょう。

先日、「生徒指導上の課題に関する専門的なプロジェクト」暴行行為等の問題行動に関する研究プロジェクト(広島大学教育学部、県教育委員会指導二課、県教育センター)を手にし、わが校の職員室の話題に重なる事も多いので、今更新しい話題でもありませんが、中学・高校になってからは遅いような気がしますが、生活習慣の基礎・基本の大切さを見直してみたいと思います。



九月のある日
「校長先生、朝ごはん食べさせて下さい。」可愛らしい声が飛びこんで来ました。朝食を食べない子がいるのは事実ですが、いまはもうその言葉はあまり驚かなくなり、あたり前みたいになって、話題にもならなくなっています。顔を洗って来な

特に、連休明けや月曜日は、生活習慣の乱れか、体調の不良を訴える子、休む子もいます。保健室にこないまでも、教室で頭がボーとして寝不足か、集中力が低下している実態も見受けられます。これでは自分の力を出しきり、学力が身につくわけがあ



三原市民体育大会の報告と今後の抱負

町内会連合会 広川弘之

第五十三回三原市民体育大会が十月十四日(日)、三原運動公園・陸上競技場で秋晴れのもと盛大に開催されました。私達深町地区も、全十七種目に総勢一二七名(内、如水館高校生三名)の選手を送り熱戦を繰り広げました。

今大会の目標として、ここ数年Cクラスに甘んじているムードを一掃し、Bクラスに昇格する宣言を町民の皆様に行いました。選手に選考された人達の活躍と大声援に励まされ、成績も素晴らしいものが続出し、三種目でクラス優勝しました。(下表)

その他の種目に於ても大健闘が目立ちました。おかげをもちまして、Cクラスに甘んじようならぬ事ができました。

ここ数年Cクラスに甘んじ、三原市全体から深町をみても存在感の薄い、連帯感のない深町ではなかったでしょうか。

四〇〇米リレー 中学男子	綱掛 竜也・宮本 啓太 井手上達也・宇江 篤
四〇〇米リレー 三〇歳代	湯浅 友也・屋敷 猛
四〇歳代	河原 秀樹・小川 和彦
紅白玉入れ 男子	迫 強介・小林 正美 岡村 宣行・岩野 秀明 岸 正勝・玉置 幸仁 藤原 明男・綱掛 幸治 林 克典・砂田 恭宏

深町に新しく居を構えられた人達と一緒に考え、活性化の起爆剤となるような市民大会にしていかなくてはなりません。今大会の競技をみて、皆様も感じられたと思いますが、団体競技では練習をしているかどうか

りません。こうした背景には、子どものくらしの厳しさもあるでしょう。長びく不況、夜遅くまで保護者が働く実態の中で、親の帰りを待ちわびる子どもも多く、生活も夜型になりがちです。中には、遊びすぎたり、夜遅くまでテレビやゲームをして朝起きれない子どももいます。時には親も一緒に、十二時ごろまでゲームで遊んでいたりする事を耳にする事もあり、驚いています。最近では、「生活習慣病」という病名すら生まれてきています。

そこで、それぞれの家庭で身につけさせたい基本的な生活習慣として、まず、「早寝、早起きをする」「朝食を食べる」「排便をする」「履物を揃える」「あいさつをする」等々が挙げられます。来年四月からは、学校が完全五日制となります。(毎週土曜日が休みとなる)子どもの生活も学校から、家庭や地域で過ごす事が多くなります。今一度、生活習慣の見直しをし、月曜日には元気で生き生きと登校できるといいですね。

次号では、「キレル」「はぶてる」「泣く」等で、自己主張する子どもについて考えていきたいと思っております。▲▲

三原健康マラソン大会

参加しませんか

開催日時 平成十三年十二月九日(日) 九時〜一三時

開催場所 三原運動公園と周辺道路

申し込み期間 平成十三年十月十五日〜十一月二十二日

詳しい案内が必要な方は準備していますので広川まで連絡ください。 ☎六三三―二五一九まで。

かで成績にも如実に現れていきます。だから練習をいかにするかBクラスに定着出来るかどうかの重要なポイントです。

来年度は早く選手選考を行ない練習量も積み、自信を持って大会に臨んでいきたいと考えていますので、町民の皆様方のご協力をお願いします。

如水館高校が深町に移転して様変わりしています。新しい深町創造の為、皆で共に考え行動しようではありませんか。

最後に選手選考から、大会当日迄お世話をしていただいた役員のご苦労に感謝いたします。反省会での皆様のあの目の輝きを来年まで持続し、また、充した大会にしましょう。▲▲

★船本信弘様 十五日 七〇歳
深町各種団体十一月行事予定

- ◆小学校・幼稚園
 - ▼チャレンジタイム 〇
 - ▼ピヨピヨハウス(幼) 〇
 - ▼体重測定(低)ム 〇
 - ▼体重測定(高・幼)ム 〇
 - ▼集金日・チャレンジタイム 〇
 - ▼貯金日 〇
 - ▼チャレンジタイム 〇
 - ▼チャレンジタイム 〇
 - ▼地域公開テーマタイム 〇
 - ▼チャレンジタイム 〇
 - ▼陸上記録会(六年) 〇
 - ▼誕生会(幼) 〇
 - ▼チャレンジタイム 〇
 - ▼第一次学習発表会(小) 〇
 - ▼チャレンジタイム 〇
- ◆女性会
 - ▼親睦会 〇
 - ▼中組町内会 〇
 - ▼大久野島へ 〇



三十年も前でしようか、三原市主催で毎年「夏期大学講座」が文館で開かれていました。日本を代表する講師が来られ話されていた。その中一人、ロケット博士の二ツクネームで知られた東大技研の糸川英夫さんの話が今だに頭の底に残っています。

▼「私は人の先見能力を計る手段として、例えば、多くの新聞が毎年年末に翌年末の株価予測をその道の専門家を動員して行ないます。一年経って結果と比べてみると能力差は歴然です。言われてみればその通りで、これほど明快な評価はないでしょう。▼経済に限らず、将来展望が掴めぬ時、「この人はどう考えて居られるだろうか」と、聞いてみた一人があるものです。その中の一人に元長銀総合研究所理事長の竹内宏さんが居られました。新聞によく登場され、分かり易い解説で一世が風靡されましたが、その長銀が九八年に破綻。これにはびっくりしました。▼又、経営学部をもちつた大学が、経営不振から閉校に至る図は漫画以上に漫画的にお金儲けの手段として経営学部で教鞭をとったとしたら人格が疑われます。こんなくだらぬことを長々と書くのは、米国で起きた「同時多発テロ」事件で、NHK解説委員の見事な解説を聞いたことに始まります。あれだけ精緻な解説ができるのであれば、せめてもう五日早く「警告」してほしかったからです。

深町歴史散策

第三番目の学校

高崎 壽郎

明治二〇年（一八八七）三月、深村字藤下一五七番地に、校舎を新築した。深で三番目に小学校である。

現町民会館東隣兼義之さん宅とグートボール広場にはさまれた狭い土地で、現在は柿畑。

明治十八年（一八八五）欧米の教育視察をして帰国した森有礼が初代文相になると、近代的教育政策を推進し始めた。

・義務教育を四年にする。明治十九年（一八八六）から、
・授業に兵式体操をとり入れ、運動会を奨励した。
・修学旅行を実施し、児童が見聞を広めるようにした。
・進級試験を行い、成績のよくない子には留年させた。

・授業料（月謝）を徴集したが、貧しい家庭は免除にした。
明治二十一年（一八八八）四月、深小学校の児童数は九八人で、四年生までの一学級一教師の学校だった。尚、一学級一教師は開校から明治三十七年（一九〇四）まで、約三〇年間続く。

一人の先生が 百名前後の児童の指導をしていたことになるが、どんな授業風景だったのだろうか。月謝を払い、留年もあるのだから、子ども達も真剣だったにちがいない。大きい子が小さい子の面倒をよくみ、今深刻な社会問題になっている「いじめ」や「不登校」や「学級崩壊」などはなかったところ、明治二十九年（一八

中国・朝鮮航路の思い出 (2)

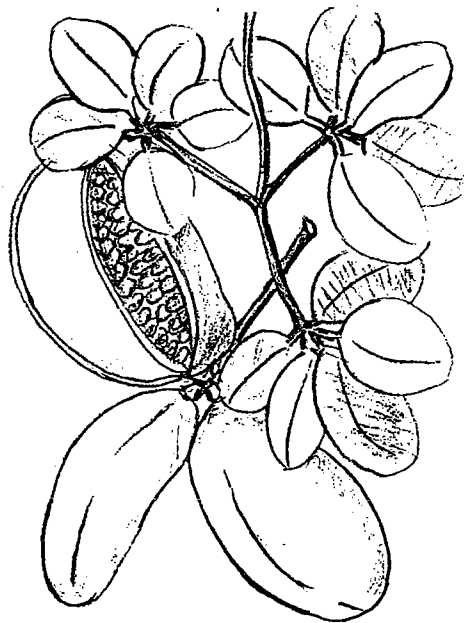
秋本 俊之

オーストラリア航路を終わって、横浜に帰港して日本郵船（株）の室蘭丸を下船したのが昭和十五年の春頃でした。今度は、舞鶴に本社のある飯野汽船（株）の大黒丸に乗船することになりました。今度の船は、近海航路の千噸クラスの貨物船で、中国、朝鮮、日本近海に就航することになり、最初は舞鶴より北支那の天津航路でした。

春の朝鮮海峡は気候と海流の関係で濃霧が激しく、島の多い航路で航海士泣かせの毎日が続きました。濃霧の日は、ブリッジより前のマストが見え難い程で、四時間交替の航海士と操縦士をへとへとにする位です。目を皿の様にして走り汽笛を鳴らし続け、島への反響音を聞き乍らまるで闇の中を手探りで走る様なものです。

海流と風に左右され、海図と首っ引きで走っていても、船の位置が分からなくなることがあります。そう云う航海の難所なので、朝鮮海峡には数ヶ所の島線羅針局が設置されて居ります。船のコースは予めチャートに書き込まれたコースを走りますが、それを外れる場合があります。その時は、ブリッジより無線室に位置確認の要請があり、その時は、本船より走り乍ら二局の羅針局を呼び出し「Q T E」の信号（位置の測定を以て来る信号）を送り、本船の位置を確認し、それをブリッジに伝えるシステムになって居ります。朝鮮半島の西側の黄海に入ると、濃霧の現象は無くなり、本船は北上を続け、そして渤海湾に入り北支の白河を約四〇キロ位遡り、天津マトウに接岸します。

先生は、三原・深・河内の各小学校へ勤められ、のちに独力で資格をとり、最後は三原女子師範学校で教鞭をとられた。その後、初代の三原図書館長に就任された。又、有名な郷土史家で、御調郡誌の編集責任者でもある。その他多くの才ある熱心な先生方から教えを受けた。先生方の内には、深や三原町、美ノ郷町、八幡町、世羅郡、府中市など遠隔地出身の方も多かったが、通動はどのようになされたのだろうか。第三番目の小学校時代に、日清・日露戦争があった。児童は、明治四二年（一九〇七）に新校舎が出来るまでの二二年間をここで勉学に励んだ。



喜代子

アゲビ

ここから街までは数キロあるので人力車で行きます。日本の駅前にはタクシーが客待ちして居る様に、人力車は客待ちして居り「チヨッピ」と呼ぶと車夫が二・三台走り寄って来ます。それ

子どもの体操

六年 満田 絃美

十月一日の朝、空を見上げた私は、とても心配になりました。雨は降ってはいないけれど、空は黒い雨雲でいっぱいだったからです。心配しながら、学校へ行きました。学校に行くときゅうき雨が降ってきて、このまますごい雨になるんじゃないかとますます心配になりました。



学校へつくと、地域の人が水が集まって、土をいれたり、水が

街まで着くと車賃は当時一円か二円位でした。意地の悪い日本人は、最初二円やると言っていて途中一生懸命走らせておき乍ら車から下りて一円しか払わないと車夫は、「不進（フジ）」と云いつら後を追いかけてきます。当時中国では、日本が優位に戦争をしていて、色々と中国人位かせをする意地の悪い日本人が多く居た様でした。

小学校だより

日に日に秋も深まり、大空高く澄みわたる今日この頃です。皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

十月一日の秋季運動会では大変お世話になりました。朝早くから運動場の整備をしていただき、なんとか無事終了することができました。泥にまみれての運動会でしたが、この運動会で子どもたちは多くのことを学び、体験することができました。いくつかを話させていただきます。

日ごろの練習の成果を見ていただこうと、泥に汚れるのを気にもしないで、力いっぱいがんばれたということ。また、朝早くから運動場を整備してくださる大人の方を見て、とても感謝し、子どもたちもスコップや一輪車で土を運び、小さな学年は石を拾いました。みんなにもたくさんの方が自分たちのために、力を貸してくださることを感じたことでしょうか。ありがとうございます。

永年有り難うございました

町内会連合会 梶谷 和伸

町内会連合会では、役員会の申し合わせにより、前々期会長 幸谷満夫氏、前事務局長 平岡功一氏のお二人の方に、連合会の役員として永年に亘り、連合会の発展と深町の発展振興にご尽力頂いたことに感謝の意を表すため、記念品を添えて感謝状をお贈りしました。幸谷様、平岡様今後共、深町の発展のためご支援頂きます様お願い致します。有難うございました。

追記

（平岡功一氏は事務局長としてのかたわら、町内広報月刊紙「ふかまのまど」を平成五年連合会発足以来八年を超え、現在も編集・発行を続けて頂いています。）
たまりの水をスポンジですいとったりしてくれていました。土をトラックで運んでくるほど大掛かりな作業をしてまで、運動会ができるようにしてくれて、ほんとうにありがたいと思ひました。

※六年生は泥にまみれながらも組み体操を最後までやり終えました。なかなか成功しなかった最後の演技の「夢の架け橋」も見事に成功しました。皆さんから拍手を受けた子どもたちのうれしそうな顔が輝いて見えたのは私だけでしょか。 春田